	【レジメン概要】						
適応病名 (癌腫)		非小細胞肺癌	· (非扁平上皮)	レジメン名 (略号)	R057 pembrolizumab + CDDP+ PEM (short hydration)		
実施部署区分		☑ 入院	√ 外来	✓ 治験/臨床詞		•	
適応分類		☑ 進行•再発	□ 術前化学療法	表 □ 術後化学療法	法	□ その他	
適応ライン		☑ 1次	□ 2次	□ 3次	□ 維持療法	•	
投与日/コース(サイクル) 休薬日数/使用コース数 (標準)		投与日 (d1,d8など)	d1	コース(サイク	1一ス(サイクル) 21日間		間
		休薬日数	20	日間			
		使用コース数	4	コース			
内服併用		□ あり	☑ なし	•内服支持療法	去あり		
放射線療法		□ あり	☑ なし	1			
ŧ	 亢がん剤 投与内容】						
Rp	薬剤	催吐 リスク	投与ルート	投与量	投与時間• 投与速度	投与日	
1	pembrolizumab	最小度	点滴	200mg	30分	d1	
2	PEM	軽度	点滴	500mg/ m ²	10分	d1	
3	CDDP	高度	点滴	75mg/ m i	60分	d1	
減量中止基準 (具体的に記載.)		白血球数		/ μ L	sCr		mg/dL
		好中球数	1,500	<i>/μ</i> L	CCr	50	mL/min
		Hb	9	g/dL	T-Bil	2	mg/dL
		PLT	100,000	/ μ L	AST	100	IU/L
					ALT	100	IU/L
		その他	肝転移ある場合	AST、ALT≤200			
		副作用時の 減量方法	最低好中球数<500/mm3及び最低血小板数≥50,000/mm3;前回の用量の75%、最低好中球数に関わらず最低血小板数<50,000/mm3;前回の用量の75%、最低好中球数に関わらず出血を伴う最低血小板数<50,000/mm3;前回の用量の50%、粘膜炎を除くグレード3 又は4 の毒性;前回の用量の75%、入院を要する下痢(グレードは問わない)又はグレード3 若しくは4の下痢;アリムタ前回の用量の75%、グレード3 又は4 の粘膜炎;アリムタ前回の用量の50%				
エビデンス資料 <u>★必須★</u>		□ ガイドライン	ガイドライン名				
		☑ 文献	文献名	Gandhi L et al.: N. Engl. J. Med., 378: 2078- 2092, 2018.			
		□ その他	提出書類名				
		1					
 (冨	備考欄 削作用対策、指示など)	各レジメンを参照					